



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

本年度の方針

第五十五代会長 島田 秀 和



飯能ロータリークラブは昭和39年に創立され、本年55周年の節目の年を迎えました。歴代の会長・幹事が中心になって築かれた歴史と伝統は今も生きております。2018～2019の会長を拝命し、大変な責任の重さを感じておりますが、私も飯能らしさを引き継ぐべく、55期の役割を最優先に考えて一年間頑張っていきたいと考えております。

どうぞ皆様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

<テーマ>

飯能ロータリーの未来に向け、基礎づくりの年

55期の役割として5年先の10年先のクラブを考え、新たな一步の年とする

<方針>

1. 伝統ある飯能ロータリークラブを学ぶ（クラブ奉仕5委員会・職業奉仕）
 - ① 伝統・歴史・創始の考えロータリーライフ等 会員卓話にて研修
 - ② クラブ奉仕5委員会が一体となって、クラブ戦略委員会を目指す
2. 新たな飯能ロータリークラブを考える（役員・財団・米山・地区出向）
 - ① クラブの方向性・事業を全会員で考える
 - ② 地区出向・セミナーに積極的に参加し 情報を共有する
3. 飯能ロータリアンを増やす（会員委員会）
 - ① 地区目標 会員の10%以上 増強6名
 - ② クラブバランスを考え 増強は急務
4. 飯能ロータリーの事業を見直す（社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕）
 - ① 継続事業を全体で話し合い 方向性を確定する
 - ② 地元の要望される事業を模索する
5. 飯能ロータリーを宣伝する（公共イメージ）
 - ① 会員も一般の方からも わかりやすいロータリーを目指す
 - ② 市内他奉仕団体との交流を持つ

任期を終えて

第五十五代会長 島田 秀和



飯能ロータリークラブは昭和39年に創立され、本年55周年の節目の年を迎えました。元号も退位にともない平成から令和の時代がスタートしました。

2018～2019の会長としての任期を無事終了することが出来ましたことは、会員皆様の絶大なるご指導、ご協力のおかげです。すばらしい歴史と伝統あるクラブをいつまでも引き継ぐべく、55期の役割を最優先に考えて事業を展開させていただきました。本年度テーマのもと当初の目標、並びに5つの切り口からの成果・結果をご報告申し上げ、退任の挨拶に替えさせていただきます。

<テーマ> 飯能ロータリーの未来に向け、基礎づくりの年

1. 伝統ある飯能ロータリークラブを学ぶ

伝統・歴史・創始の考え・ロータリーライフ等、委員会会員卓話にて研修。会員の過去の所属委員会・役職の入会順にて一覧表を作成、全員に配布。過去6年の会員数・収支・繰越金の推移一覧表を配布。引継例会に利用。

2. 新たな飯能ロータリークラブを考える

前半の例会を利用し、クラブの方向性・事業を全会員で考える。地区出向・セミナーに積極的参加し、次年度は4名の方が地区出向する。ガバナー擁立を掲げ、選考委員会4回実施したが決定ならず持越となる。

3. 飯能ロータリアンを増やす

地区目標：会員の10%以上。増強6名目標掲げ何とか6名達成する。クラブバランスを考え40代～60代の方に入会していただいた。増強は急務だが、数合わせではなくクラブにふさわしい人を選んだ。

4. 飯能ロータリーの事業を見直す

5年続いたベトナムへのパソコン贈呈事業で8月に全員アンケート実施。話し合い、本年度にて終了を決定する。地元の要望される事業を模索する。関連5委員会とスタッフとで将来に向け、意見交換を2回開催する。

5. 飯能ロータリーを宣伝する

会員も一般の方からもわかりやすいロータリーを目指す。5委員会での意見として、現在籍会員の氏名・職業公開が増強にも繋がるとの事で文化新聞に会員募集の広告記事を2回行う。次年度はケーブルテレビも市内他奉仕団体との交流を持つ事でお互いが理解し合う。JC・青年部の役員に卓話講師依頼し、距離を縮め増強に結びつける努力をした。

以上、スタッフ・委員長に支えられ、事務局にお世話になり、たくさんの事業を展開することができました。今後は次年度 土屋年度の影の応援団でがんばりたいと考えています。1年間ありがとうございました。